



題字：仙頭明奈先生

《学年の先生より》

「桜梅桃李」

4 組担任 皆吉 真樹

以前、電車に乗り、学校から帰宅している最中に、「桜梅桃李」と書かれた T シャツを着ている高校生を見かけました。どういう意味か気になったため、調べてみると、「おうばいとうり」と読むそうです。「それぞれが異なる花を咲かせ、独自の美しさを持つ」という意味があり、そこから転じて、「人にはそれぞれの個性や持ち味がある」という意味で使われるそうです。

私は、この言葉の意味を知って、ものの見方が少し変わったように感じています。何が変わったかということ、「他人と自分を比較しなくなった」ということです。厳密にいうと比較しないように注意しているということです。

皆さんにはこのような経験がありますか？「自分はこんなに頑張っているのに、あの子よりテストや模試の点数が低い…」「あの子は一生懸命なのに、自分は前向きになれない…」誰しも一度感じたことがあるのではないですか？というのも、人間は社会的な生き物であり、他者の存在を常を感じながら生きているため、当然と言えば当然のことです。しかし、人によって向き不向きがあることが事実です。同じように勉強に取り組んでいてもどうしても差は生まれてしまいます。では、どうすればよいのか。自分の得意なことを、できることを突き詰めていくことです。勉強は苦手だったとしても、コミュニケーションが得意な人もいます。コミュニケーションが苦手でもマルチタスクが得意な人もいます。自分にできることは何か。これから先の人生でよく自分を見つめ、自分の得意を突き詰めてください。皆さんがこれから先「桜梅桃李」の心で、自分の個性を活かして、活躍できることを祈っています。

「受験期の思い出」

5 組担任 小滝 哲也

大学受験の時に、よく図書館に行って勉強しました。大学受験目の 1 月のある日、よく行く図書館に勉強しに行くと、その日は休館日でした。お金もわずかししか持ってなかったのでお店の中に入って勉強するということもできず。家に帰ればよかったのに、このまま帰るのはせつなく来たのにお金も時間ももったいないと思ったので、近くにあったさびれた神社のベンチでひたすら勉強しました。冬の寒さで集中できませんでしたが、震えながら英語の長文問題を解いていました。今大人になって振り返ってみると、あの頃のどんな状況でも勉強を最優先にして取り組んだ経験が懐かしいなと思いつつも、合格に向かって勉強をやりきったことは、貴重な経験だったなと感じます。

受験生の皆さんはもしかしたら勉強のつらさや不安を感じているかもしれません。今はまだわからなくても自分の進路に向けて一生懸命勉強した経験は、必ず自信となり、将来の糧となります。大人になって振り返った時に、「受験生の時に本気で頑張ってよかった。」と思えるはずです。あと少し、自分を信じて最後まで走り切ってください。

「受験本番」

6 組担任 高橋 秀和

高 3 の担任をすると気持ちの上でクリスマスも正月もない。もちろん自分が受験するわけではないけれど、やはり落ち着かない。短い年末年始が過ぎると 1 月から共通テスト、私大入試、国公立入試、そして卒業式と続く怒涛の 3 学期が始まる。自分も最後まで気が抜けない。現役のみんなは一般入試直前まで伸びる。志望校に向けて仕上げていこう。最後までやり切るために体調も整えよう。志望校に向けて妥協せずに本気で取り組んできた、そんな時間を積み重ねてきたという事実が、入試前に不安に襲われた自分をきっと落ち着かせてくれる。一般入試に向けてもうひと踏ん張り。春は近い。

《卒業記念品について》

41 回生の卒業に際し、保護者の皆さまからお預かりしている
学年費から卒業記念品としてテントを二張り、
学校に寄贈させていただきます。



《卒業式までの主な行事予定》

12 月 23 日（火） 学年集会 防災避難訓練



24 日（水） 大掃除



終業式 ※制服登校（ブレザータイプはネクタイ着用）

25 日（木）～1 月 7 日（水） 冬休み



1 月 8 日（木） 大掃除

始業式 ※制服登校（ブレザータイプはネクタイ着用）

1 月 9 日（金）～1 月 16 日（金） 月・木・金…午前中授業

火・水…6 時間授業

16 日（金） 大学入学共通テスト事前指導

17 日（土）・18 日（日） 大学入学共通テスト

19 日（月） 共通テスト自己採点（受験者のみ、受験していない者は通常授業）

午後：大掃除・LHR（昼食必要）



20 日（火）～2 月 25 日（水） 自宅学習

2 月 26 日（木） 同窓会入会式、卒業式予行 ※制服登校（ブレザータイプはネクタイ着用）

27 日（金） 卒業式

